

平成28年度第2回 石川県議会改革推進会議 結果概要

- 1 開催日：平成28年11月8日（火）
- 2 開催場所：特別委員会室
- 3 出席委員：下沢会長、石坂副会長、中村委員、作野委員、焼田委員
徳野委員、室谷委員、富瀬委員、佐藤委員
オブザーバー：増江議員、川議員
事務局：局長、次長 ほか議会事務局職員

【会議概要】

1 政務活動費について

前回、提案のあった政務活動費収支報告書を議会ホームページで公開すること及び領収書等を議会図書室で閲覧することについて協議した結果、平成28年度交付分から実施することに決定した。

また、マニュアル検討小委員会の委員に下沢会長、石坂副会長、中村委員を選任した。

2 主な意見

- ・この問題に対する県民の関心が極めて高いことを考慮すると、平成27年度についても自主的にホームページで公開する。あるいは、領収書の閲覧ができるようにするくらいの姿勢が必要でないか。
- ・いずれも新しく始める制度であるから、平成28年度交付分から行うことが適当だと思う。
- ・収支報告書については、もう議会図書室で閲覧できる状態であるから、ホームページで公開してもいいのではないか。
- ・平成28年度分からしっかりと精査して、政務活動費について、県民から信頼を受けるための処理をしていくために、ルール等々も含めて整理していかなければならない。
- ・解釈の違いが出てこないようにマニュアル作りが大事だと思う。マニュアルを精査してきちっとしたものを作り上げ、それに基づいた28年度の報告書を出していくことが筋ではないか。
- ・マニュアルの詳細を含めしっかり議論して、今年度から適用していくのが筋ではないかと思う。
- ・マニュアルの使途基準を明確化し、そのことを県民にしっかりお知らせし、公開していけばいいと思う。
- ・広く県民の皆様に見ただけの新しい制度をしっかりと整備したうえで公開することが大切ではないか。
- ・県民に信頼をいただける方向性をしっかりと示すことが、県議会の責務、責任だと意識している。

・事務局も含めて、この問題を真剣に捉えていかないと県民が納得するような本物の方向性が打ち出せない。